



じゅんかん ニュース

<第29号>

発行日：平成28年3月2日

発行：市川市清掃部

循環型社会推進課

☎ (712) 6317

市川市の資源物とごみの情報ペーパー

日本では、1人1日おにぎり1~2個分の食べ物が捨てられています
食べ物をもっと無駄なく大切にすることで食費も節約！
さらにマイバッグを使うことで、資源を節約！！

買い物の前に確認していますか？

冷蔵庫などのチェック



買い物の前に、冷蔵庫や戸棚の中などを見て、賞味期限や消費期限を確認し、本当に買わなければいけないものを調べましょう。
同じものを二重に買わないように、あらかじめ冷蔵庫や戸棚に何が入っているかをチェックし、記録を冷蔵庫などに貼っておくのも良いでしょう。

買い物リストを作しましょう

買い物に行く前に、チラシの裏面などのいらなくなった紙に購入するものを書き出して、買い物リストを作しましょう。

携帯電話やスマートフォンの機能を利用して買い物リストを作るのも、一つの手です。



マイバッグを持って買い物しましょう



買い物に行くときは、余計なレジ袋をもらわないために、マイバッグを持って出かけましょう。

レジ袋を1枚節約すると、約10グラムの原油を削減することができます。

ごみ集積所での個別指導も視野に！



3月末に、14ヶ月をかけて行った市内全てのごみ集積所の排出状況調査を終えます。
今回の調査は、「燃やすごみ」を指定袋以外で出している集積所の場所と袋数を調査し、指定袋以外の袋の取残しを実施しました。

集積所の清掃など管理されている方には、ご苦勞をおかけしています。

しかし、多くの方が、ごみ出しルールにご協力いただいていることや、本市では、レジ袋の削減に取り組んでいることから、今後も指定袋以外で出されるごみへの対策を強化していきます。

特に排出状況が悪い集積所では、個別指導なども検討しています。

市川市の基本的なごみ出しルール

1. 正しく12分別する。
2. 収集日の午前8時までに決められた集積所に出す。
3. 「燃やすごみ」、「燃やさないごみ」、「プラスチック製容器包装類」は、市の指定袋に入れて出す。

集積所は、きれいにご利用ください。

雑がみの出し方について

雑がみの出し方については、過去のじゅんかんニュースや広報紙等で何度かご紹介させていただきましたが、ここでもう一度おさらいしたいと思います。

雑がみの例



トイレットペーパーの芯



封筒、カレンダー
・ビニール部分、金属部分は分けて排出



ティッシュの箱やお菓子の空き箱
・ビニール部分は分けて排出



包装紙



コピー用紙

雑がみでないものの例



捺染紙
(アイロンプリント紙)



防水加工がしてあるもの
(紙コップなど)



感熱紙
(レシートなど)



カーボン紙
(宅配便の伝票など)



臭いのついた紙
(石けんの包み紙、洗剤の箱など)

ほか、圧着ハガキ、油などで汚れた紙(ピザやケーキの箱)、カバンや靴などの詰め物としていた紙 など

雑がみの出し方

下記の3つの方法のうち、いずれかの方法で出してください。



①雑がみだけを紙袋に入れて出す



②雑がみを雑誌の間に挟み、ひもで十文字に縛って出す



③雑がみだけを、ひもで十文字に縛って出す